

発行 一般財団法人 田澤記念館
住所 佐賀県鹿島市大字高津原434番地
発行責任者 平野重徳・小池幸照
発行所 鹿島印刷株式会社
発行日 2019年11月28日

第75回 田澤義鋪記念会総会で高橋研一氏が講演

令和元年11月1日、田澤義鋪記念会総会が明治神宮会館で開催されました。今回は、鹿島市明治維新150年記念事業として「日記が語る田澤義鋪の実像」を執筆された高橋研一氏(鹿島市民図書館学芸員)が講演をされました。以下、講演の要旨を簡単に記します。

これまで田澤義鋪の考えや行動を記した著書、日記、書簡は公表されているが、それだけでは田澤の一端しか見ることができない。これらをすべて合わせ見ることによって田澤の全体像に迫ることができるというのが高橋氏の考えである。そのため、これからの「田澤義鋪」との向き合い方について、田澤から何を学び、その精神をどう活かすのか現実生活での実践が強く求められている。また、田澤は何を考え、どう行動したのか克明かつ丁寧に調べていく必要がある。具体的には、田澤の視野と構想を復元し、田澤義鋪の全体像を解明する必要がある。さらには、これまで言われてきた「青年の父」ととどまらない活動と、それを支えた仲間達についても深く掘り下げていくことが重要だと考えている。

これまで、女性の政治参加については具体的な行動はなかったが、昭和7年「大成婦人会」が結成され、毎月の例会と社会奉仕を行うことが決まった。それと前後して、婦人の参政権をめぐる貴族院で婦人公民法案が廃案となった。田澤は、女性に政治教育を行う場所と担い手の育成が先決だと考えていた。

田澤は「青年教育の父」といわれているが、青年教育のみならず一般公民教育が最終的な目的であった。青年教育、その後の壮年教育にも強い関心を寄せていたことが分かる。

昭和9年、後藤文夫の後任として大日本連合青年団理事長に就くが、昭和11年辞任する。この頃すでに陸軍が政治に口を出すようになり、世の中は戦時色へと突き進むことになる。

田澤が取り組んだ青年団・壮年団活動、選挙東正運動等は、田澤一人の力では到底かなえられるものではなく、そこには仲間や同志が存在していた。中でも、後藤文夫を中心とした内務官僚出身グループとはお互いの国家観を共有し、連携をしながら課題に取り組んでいったようである。田澤を知る上で、内務官僚に関する資料の発掘研究はそれほど進んでいないのが現状で、今後この方面の研究が進めば新たな田澤の一面が見えるものと思う。

後藤文夫とは、五校からの盟友でともに内務官僚となった。青年団活動や選挙東正運動など考えも共有した間柄である。後藤は、農林大臣として入閣するなど政治の第一線で活躍し、戦後は日本青年館の理事長として田澤義鋪の顕彰事業を行った。

最後に高橋氏は、田澤の全体像を知るために、総合的な田澤義鋪の伝記の編纂を目指していることを述べ講演を閉じられた。今後の田澤義鋪研究の方向が見えてきたのではないかなと思う。有意義な講演であった。

(文責 田澤記念館常務理事 松本 貞)



講師 高橋研一氏

講演会のご案内

『内務官僚・田澤義鋪の国家構想 -田澤が追いつけた理想の政治とは-』

内務官僚出身の田澤義鋪を日本近代史に位置づけた研究を進める第一人者、神戸女学院大学文学部の河島真教授を迎え、講演会が開催されます。

「青年の父」として知られる「田澤義鋪」と違った角度からのお話します。

参加費無料、事前申込不要ですので、たくさんの方々の参加をお待ちしております。

日時/12月8日(日)

10:00~12:00

会場/鹿島市生涯学習センター

エイブル 研修室(3階)

主催/鹿島市民図書館学芸部

協力/一般財団法人田澤記念館



神戸女学院大学
河島真教授

明倫まつりで「田澤義鋪」の劇

11月10日、鹿島市立明倫小学校で「明倫まつり」が開催されました。各学年、学習の成果や活動発表がありました。6年生は出前授業(総合学習)で「郷土の偉人 田澤義鋪」を学習したので、今回は田澤の一生を劇にしました。

主人公の田澤義鋪には、前半は男子児童、後半は女子が扮し第五高等学校時代のポート事件や「一事貫行」の大切さなどを全校児童や保護者に紹介しました。

また、東京帝国大学卒業時に朝鮮や旧満州を視察した際の田澤のやるかたない気持ちを一所懸命に演じました。

劇の最後にはカントリーロードを全員で歌い会場からも手拍子が聞こえました。

田澤記念館では、今年度も田澤義鋪の出前授業を行っています。各学校、感想は書いてくれましたが、劇は初めてでした。明倫小学校6年生の皆さん、ありがとうございました。この取り組みが、来年度も広がることを期待しています。

今後も、各小学校で出前授業を予定しています。



『第27期ユースカレッジ』報告

田澤記念館の主な事業である「ユースカレッジ」が5月にスタートし、毎月1回開催してきました。今回は、8月の第4回講義の感想と、9月に行いました宿泊研修の様子です。

～第4回 ユースカレッジ～ (参加者の感想)

講義「地域づくりについて」 講師:肥前浜宿まちづくり公社 林 圭一郎氏

肥前浜宿まちづくり公社の林圭一郎さんは鹿島市役所での定年退職後の再任用を受けず、大学院で勉強し、地域の活性化に尽力されており、その時点で並々ならぬ行動力であると感じ、真似しなければならないと思った。

林さんは酒蔵とクラシックを絡めたイベントを始めとして、様々なイベントを企画されており、とてもアイデア豊富で能力の高い人だと感じた。しかし、その企画力は地域のことをよく知り、よく分析されているからこそ成り立っているものだと分かった。

講演の中で、鹿島への外国人観光客の人数は年々増えているが、消費自体はあまり多くないというお話があったが、消費を促すような街づくりは今後の課題だと感じた。また、消費の傾向として、「モノ消費」から「コト消費」に変化しているとのことで、これからは体験型の消費を促す必要があることを知った。

私は鹿島に住みはじめてから5年目になるが、これから鹿島のことを詳細に把握し、分析することで、鹿島の発展のために少しでも貢献していきたいと思った。また、地域と一体となって観光地を作りあげられるように、これから少しずつ努力していきたい。



肥前浜宿酒蔵通り

～第5回 ユースカレッジ～ (宿泊研修の様子)

肥前浜 9月27日～28日の2日間、諫早青少年自然の家で宿泊研修を行いました。今回は野外研修を通じて日頃経験しない事を経験してもらおうと実施しました。

1日目はオリエンテーリングとグループワークトレーニング。2日目は、野外炊飯を行ないました。

班のみんなで協力して活動を行なうことが出来ました



野外炊飯

少年クラブ「お仕事体験&ロウソク作り体験」事業を開催



親子でロウソク作り

昨年まで行っていた田澤少年クラブは、今年度は事業中止となりましたが、昨年までのように年間通しての活動ではなく、単発事業として鹿島市青少年育成市民会議と合同事業で開催しました。

「お仕事体験&ロウソク作り体験」事業として、小学生の親子を募集したところ25名の参加がありました。祐徳自動車(株)さんにご協力いただき、バス点検の様子を見学し、バスに乗車して祐徳神社前まで楽しくドライブしました。日頃バスに乗る機会が無い子ども達はブザーを押すのが楽しく「ピンポーン」の嵐でした。

その後はエイブルで星型のロウソク作りに挑戦。自分の好きな色を組み合わせると綺麗なロウソクが出来上がりました。

『鹿島市連合青年団』も頑張っています

鹿島市連合青年団は、現在9名でいろいろな事業や、活動のお手伝いを行なっています。

毎年5月には、古枝地区で「ホテルミーティングinふるえだ」と題し、座学とホテル狩りを行なっています。毎年たくさんの親子の参加があります。

8月は肥前浜宿で行われる「土曜夜市」に実行委員として参加し、当日はゲームコーナーを運営して、子ども達に楽しんでもらいました。

12月は、「サンタの幸せ宅配便」を実施しています。(右欄参照)

また、「鹿島ガタリンピック」や「鹿島おどり」、「鹿島市成人式」「鹿島祐徳ロードレース」「花と酒まつり」など、鹿島で行われるイベントにボランティアとして参加し、お手伝いをしています。



『サンタの幸せ宅配便2019』

事前に各家庭からプレゼントを預り、サンタクロースの格好をした鹿島市連合青年団の団員が、クリスマスイブにプレゼントを配達します。詳しくは、鹿島市連合青年団のホームページにてご確認ください。

- <申し込み>
- 申し込み 12月6日(金)19:30~21:00
田澤記念館 小会議室 (鹿島市内限定)
- 定員 50件(先着順)※鹿島市内限定
- 申込料 500円/1家族
- <プレゼント受付>
- 受付 12月21日(土)19:30~21:00
- 場所 田澤記念館 小会議室
- <配達>
- 配達 12月24日(火)18:30~21:00
- 【問い合わせ先】
- 鹿島市連合青年団 竹下/080-5274-4299
(または、田澤記念館 ☎0954-63-1622)

